

財務指標の例⑱

付加価値率

2018年度の付加価値率（全産業・全規模）は20.5%

※業種別・資本金別

業種	資本金			
	1,000万円未満	1,000万円~1億円	1億円~10億円	10億円以上
製造業	34.6%	24.4%	19.1%	17.0%
非製造業	31.0%	21.9%	17.2%	18.4%

(1) 財務指標の説明

付加価値率とは、売上高に占める付加価値額の割合を言い、付加価値率が高い場合は、企業が新しく創造した価値の割合が大きいと言えます。

$$\text{付加価値率(\%)} = \frac{\text{付加価値額}^{**}}{\text{売上高}} \times 100$$

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産	I 流動負債
II 固定資産	II 固定負債
III 繰延資産	
	純資産の部
	I 株主資本
	II 評価・換算差額等
	III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I	売上高
II	売上原価 売上総利益
III	販管費 営業利益
IV	営業外損益 経常利益
V	特別損益 税引前当期純利益
VI	法人税等 当期純利益

* 2006年度調査以前：
人件費＝役員給与＋従業員給与（従業員賞与を含む）＋福利厚生費
2007年度調査以降：
人件費＝役員給与＋役員賞与＋従業員給与＋従業員賞与＋福利厚生費

** 付加価値額＝人件費*＋支払利息等＋動産・不動産賃借料＋租税公課＋営業純益***

*** 営業純益＝営業利益－支払利息等

(2) グラフで見る最近の動き

2018年度の製造業、非製造業を見ると、製造業は対前年度比で付加価値額が減少し、売上高が増加した一方、非製造業は対前年度比で付加価値額が増加し、売上高が減少したことから、全産業で見た付加価値率は前年度比で上昇しています。

